

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和5年(2023)年

4月発行

(vol.13)

令和4年度 雲仙地区治山事業の取り組みについて(報告)

1. 観測及び調査結果

「雲仙地区治山対策に関する提言書」により、極楽谷・炭酸水谷では、3基の治山ダム(谷止工)の完成によって、谷の侵食を抑制し土砂や水の流れを整える機能は一段と向上したとの評価を得ました。しかし、谷は引き続き不安定な状況にあり、侵食による地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施し、その結果を見極め、必要に応じて追加対策を検討していくことになりました。

そのため、令和4年度は、4半期毎の定期調査観測で、9回のドローン撮影、2回の現地踏査、1回の植生調査を実施しました。

令和4年の年間雨量は、雲仙岳で、昨年の約3割減の2,550mm、また時間最大雨量は、4月26日の50.5mm、連続最大雨量は、台風14号が来襲した9月17日~19日にかけて261mmを記録しましたが、都度観測の基準値である時間連続雨量60mm、連続雨量280mmを超える雨量は観測されませんでした。

なお、**極楽谷・炭酸水谷の治山ダムへの土石流の発生及び土砂の異常堆積は、令和4年度も確認されませんでした。**【写真-1】【写真-2】【写真-3】

極楽谷・炭酸水谷治山ダム群の状況



【写真-1: 梅雨前 (令和4年5月6日撮影)】



【写真-2: (令和5年4月3日撮影)】



【写真-3：水無川流域（赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷）全景】

2. 令和2・3年度 航空実播工の施工結果を検証

令和3年2月に、治山ダムの工事に伴い裸地化した一帯の早期緑化を図るため、ヘリコプターで空から草木の種子を散布する航空実播工を3.9ha実施し、翌年度、その場所に散布された草本の成長を促進するため、空中から肥料等を散布する航空実播工（追肥）を施工しました。

その生育状況の調査を面的調査方法であるコドラート調査（優先度・群度）を10月6日に実施し、良好に成長していることを確認しました。【写真-4】



【写真-4：調査地7号治山ダム右岸】

令和5年度 雲仙地区治山対策の予定

「雲仙地区治山対策に関する提言書」を踏まえ、極楽谷・炭酸水谷の治山ダムの本体工事、それに付随する緑化工事の完成によって、ハード対策が令和3年度を持って当面の完成となりました。

しかしながら、谷は引き続き不安定な状況にあり、侵食による地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施し、その結果を見極め、必要に応じて追加対策を検討していくことになっています。

このため、昨年度に引き続き、観測・調査を定期的実施するとともに、本誌「雲仙治山だより」の定期的な発行を通じて、これからの観測・調査の結果等について情報を発信し、地域の皆様の安心・安全に寄与してまいります。